

生誕110年

放浪記

続放浪記

十年間 骨

清貧の書 面影

旅だより 牡蠣

野麦の唄

女の日記

田舎がえり

女の位置

浮雲 晩菊

風琴と魚の町

巴里の日記

北岸部隊 夢一夜

めし うず潮

# 林芙美子展

はやし ふみこ

風も吹くなり 雲も光るなり  
うき草



林芙美子自画像「顔」

風琴と魚の町

蒼馬をみたり

女の復活 牛肉

啓吉の学校

川歌 冬の林檎

茶色の眼

旅館のバイブル

お父さん 狐物語

人間世界 暗い花

第二の結婚 漣波

淪落

開催期間 平成25年 6月22日(土)～7月21日(日)

開館時間 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日 月曜日(7月15日(月・祝))は開館、翌日は開館

観覧料 大人/700円、高大生/500円、中学生以下無料

〔前売は各200円引、団体(20名以上)は各100円引〕

協働企画 尾道市・尾道市立美術館

北九州市立文学館 かごしま近代文学館 新宿歴史博物館

協力 林福江氏、市川市文学プラザ、京都大学大学院文学研究科考古学研究室、林芙美子文学館、日本通運株式会社、日本興亜損害保険株式会社、朝日新聞広島総局、産経新聞社福山支局、山陽新聞社、中国新聞備後本社、毎日新聞福山支局、読売新聞福山支局、NHK広島放送局、中国放送、テレビ新広島、広島テレビ、広島ホームテレビ、山陽毎日新聞社、尾道ケーブルテレビ、尾道エフエム放送、経済レポート、経済リポート尾三支局、ビジネス情報、せとうちタイムズ

※70歳以上、身障者は、証明できるものを提示により無料  
※特別入館券 尾道市広報誌6月号に本展会期限定の入館券(1名分)を掲示

生誕110年

# 林芙美子展

はやし ふみこ



林芙美子は、一九三〇（昭和五）年、『放浪記』がベストセラーとなり作家としての道を歩み始めます。単身で中国やパリなどへ渡り、戦時中は従軍作家として中国や南方にも赴きました。戦後は戦争によって運命を翻弄された市井の人々に寄り添い、終生、庶民を描き続けた作家でした。

本企画展では、遺された原稿・草稿、書簡、遺愛品、雑誌・書籍、写真などで、その生涯と作品を紹介しつつ、大正から昭和の激動期にかけての時代の記憶を新たにし、現代へのメッセージを浮かび上がらせます。

花のいのちはみじかくて  
苦しきことのみ多かりき  
風も吹くなり 雲も光るなり

自宅書齋にて (撮影: 林忠彦 © 林忠彦作品研究室代表林義勝)

## イベント

### 【講演会】

- ①今川英子さん(北九州市立文学館長・企画展総合監修)  
日時: 6月22日(土) 10:30~11:30
  - ②久保卓哉さん(福山大学名誉教授)  
日時: 7月7日(日) 13:30~15:00
- 会場: 尾道市立美術館  
対象: 一般。参加無料・申込み不要。展覧会観覧料が必要です。

### 【林芙美子生誕110年記念フォーラム ～林芙美子の文学と尾道～】

- 日時: 6月29日(土) 13:30~16:30  
会場: 尾道商業会議所記念館  
ライブ中継会場: おのみち街かど文化館(80名)、市立美術館(60名程度)  
定員: 40名(要予約)  
参加: 無料。美術館は展覧会観覧料が必要です。  
申込: 6月3日午前10時から文化振興課(0848-25-7366)で受付けます。
- ◇パネルディスカッション  
川本三郎さん(評論家)×太田治子さん(作家)×今川英子さん(北九州市立文学館長)  
コーディネーター 毛利和雄さん(ジャーナリスト)
  - ◇朗読・進行  
青木裕子さん(元NHKアナウンサー)

### 【わいわいがやがや おしゃべり鑑賞会】

- こどもたちを対象にした鑑賞会です。鑑賞資料などをもとに、楽しくおしゃべりしながら鑑賞します。  
日時: 7月14日(日) 14:00~15:00  
会場: 尾道市立美術館  
対象: 中学生以下。参加無料・申込み不要。付添いの方1名は無料で入館できます。

### 【ギャラリートーク】

- 市立美術館学芸員が鑑賞ポイントの解説をします。  
日時: 7月21日(日) 14:00~15:00  
会場: 尾道市立美術館  
対象: 一般。参加無料・申込み不要。展覧会観覧料が必要です。

## 関連イベント

### 【第28回芙美子ウィーク】

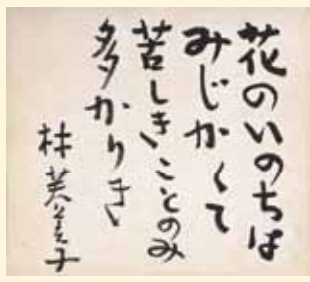
- ◇「林芙美子特別展示」  
生原稿、関連書簡、遺品等の展示をします。  
日時: 5月24日(金)~7月1日(月) 9:00~18:00  
会場: 文学記念室  
入館料: 一般300円
- ◇「林芙美子と尾道文芸講演会展」  
図書展示をします。  
日時: 6月1日(土)~30日(日) 10:00~19:00  
月曜日休館  
会場: 市立中央図書館
- ◇「林芙美子の作品を読む」  
しまなみ朗読会(わすれな草)による朗読会をします。  
期日: 6月29日(土)  
会場及び時間:  
市民センターむかいしま 10:30~11:45  
市立中央図書館 14:00~15:15  
参加: 無料
- ◇あじさいき  
林芙美子の命日にちなみ、在りし日の芙美子を偲びます。  
日時: 6月23日(日) 11:00~12:30  
場所: 一番街商店街・芙美子像前ほか  
参加: 無料

### 【文学散歩「芙美子が暮らした尾道」】

- シルバー人材センターガイド班と一緒に、芙美子ゆかりのポイントを巡る町歩きをします。  
期日: 6月23日(日)、30日(日)、7月7日(日)、14日(日)、21日(日)  
時間: 午前の部 10:00~12:00  
午後の部 13:30~15:30  
集合場所: JR尾道駅前  
定員: 20名(要予約)  
参加: 500円/人  
申込: シルバー人材センターガイド班(Tel.0848-20-7700・文学記念室0848-22-4102)まで。  
締切: 実施日前の火曜日まで

### 【尾道本通り一番街商店街】

- ◇県立尾道高等学校生徒作品展示(6月未定:街かど文化館)
- ◇煎茶道三笑亭賣茶流お茶会(6月30日:芙美子記念館)
- ◇林芙美子資料個人所蔵品展&講演会(7月未定:街かど文化館、商業会議所記念館)



書「花のいのちはみじかくて 苦しきことのみ多かりき」  
生前、色紙などを求められると、この詩を好んで書いていた。  
新宿歴史博物館蔵



詩稿「風も吹くなり 雲も光るなり…」  
「花のいのちはみじかくて…」の原典といわれる。「赤毛のアン」の翻訳者・村岡花子の書齋に飾られていたもの。  
赤毛のアン記念館・村岡花子文庫蔵

風も吹くなり 雲も光るなり



「放浪記」「続放浪記」(改造社 1930.7.11)  
改造社が刊行した「新鋭文学叢書」の一冊として出版され、ベストセラーとなった。



「浮雲」(六興出版社 1951.4)  
晩年の集大成ともいべき作品。南方派遣時の体験が色濃く反映される。

〒722-0032 尾道市西土堂町17-19千光寺公園内  
Tel.0848-23-2281 Fax.0848-20-1682  
<http://www.7.city.onomichi.hiroshima.jp/>

- ご利用案内  
●JR山陽本線「尾道駅」から、東行きバス(①番のりば)で「長江口」下車、ロープウェイで「千光寺公園」へ。(ロープウェイのりばで、「往復乗車券+観覧券」のお得なセット販売をご利用ください。)なお、美術館最寄りの「千光寺公園」行きバスは便数が少ないのでご注意ください。  
●お車の方は、千光寺山ドライブウェイ経由で「千光寺公園駐車場(有料)」をご利用いただきましたら、入館時に駐車券提示により1名に限り200円割引します。  
●JR山陽本線「尾道駅」、JR山陽新幹線「新尾道駅」からタクシーで約15分。

